

平成29年度 大田区立入新井第四小学校 自己評価 報告書

○ 本校の概要

本校は、児童383名の中規模小学校です。本校のよき伝統と校風を継承しつつ、時代の移り変わりとともに新しい時代のニーズにあった改善を行い、「知」「徳」「体」のバランスのとれた「生きる力」を育成する新たな入四小の教育活動を創造していきます。今年度の校内研究は、「学び合い、高め合い、深め合う 入四の子～2020オリ・パラに向けて～」と題して、児童のかかわり合いの活動の中で体育・外国語活動・道徳・音楽を通して研究を進めています。また平成29年度体力向上モデル校として、『体育・健康教育授業地

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

大項目	目標	取組内容	目標に対する成果指標	成果評価	これまでの取組及び今後の改善策	コメント
学力向上	児童・生徒一人ひとりの学ぶ意欲を高め、確かな学力を定着させます。	学習カルテを基に児童・生徒と面談し、一人ひとりの学習のつまずきや学習方法について、指導する。	4. 保護者や地域の方による学校評価アンケートの「基礎学力がついている」に対して「よくあてはまる」のA評価が、40%以上であった。	2	「よくあてはまる(A)」の評価では26%であった。肯定評価(A+B)の数値は83.6%であった。学校においては、補習の時間を確保して努力しているが、結果として、基礎学力が伸びてきていることを、保護者、地域に理解していただく方法を改善していく必要がある。また、教職員の指導力を高める研修を行ったり、国語や算数などで、基礎学習をしている授業などを積極的に公開していきたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導講師の人数も増やし、一人一人に合った学習内容に取り組んでいると思います。評価はもとよりよいような気がします。 ・外国語活動の授業がとても楽しそうであった。毎回、参観が楽しみです。 ・入四タイムや補習を通じて、基礎学力をつける機会を設けていると思います。電子機器の発達で覚えることが疎かになりがちなので、九九や漢字など基礎学力をしっかり身に付けられるよう、反復的な学習をする時間を設けてください。 ・補習の全児童対象化について、連絡が遅れた。
		算数・数学到達度をステップ学習チェックシートで児童・生徒、保護者に知らせる。	3. 保護者や地域の方による学校評価アンケートの「基礎学力がついている」に対して「よくあてはまる」のA評価が、30%以上であった。			
		学習指導講師等による算数・数学・英語の補習を実施する。	2. 保護者や地域の方による学校評価アンケートの「基礎学力がついている」に対して「よくあてはまる」のA評価が、20%以上であった。			
		外国語教育指導員を効果的に活用し、外国の方々のコミュニケーション能力の育成等を図っている。	1. 保護者や地域の方による学校評価アンケートの「基礎学力がついている」に対して「よくあてはまる」のA評価が、20%未満であった。			
		授業改善推進プランを、授業に生かす。				
	東京ベーシックドリルの正答率を高める。					
豊かな心を育む	子ども一人ひとりの健全な自己肯定感・自己決定力を高め、未来への希望に満ちた豊かな人間性を育みます。	小中一貫による教育の視点に立った生活指導の充実により、社会のルールや学校のきまりなどを守ろうとする意識を高める。	4. 保護者や地域の方による学校評価アンケートの「挨拶をしている」に対して「よくあてはまる」のA評価が、30%以上であった。	3	「よくあてはまる(A)」の評価では22.6%であった。肯定評価(A+B)の数値は82.2%である。「よくあてはまる(A)」は昨年度23.7%より下がった。学校では、挨拶を推進する取り組みを行っているが、さらに挨拶ができる児童を増やすための取り組みを考えていく。	<ul style="list-style-type: none"> ・「道徳科」になっても授業の充実が最も大切で、道徳の授業が「ねらいに照らして子供一人一人が自分の生き方(過去の体験、現在の思い、将来の希望)について、深く考える営み」であることは必要です。 教材を大切にいくことで子供たちの「主体的、対話的で深い学び」が増幅されます。教科書にできることで、教材研究定時の工夫を大切にしてください。 「特別な教科」である道徳科の教科書は「載っているもの全部こなしなくてはならない」ではなくて、補助教材、都の資料集などの活用が大切です。要は、全体計画、年間計画の充実とかがわかります。 この地域では一番明るい学校ではないかと思えます。朝の挨拶運動、地域の方と一緒に子供のことが大好きな方ばかり。子供の挨拶も立派です。問題行動に対して早く取り組み、早期解決につなげていることがわかります。素晴らしいです。 すべてとても良い取り組みができていますと思えます。継続を望みます。 学校公開時の道徳授業は各学年とも興味深い内容でした。クラス運営などを通じて、日常的にも心を育てる教育をさらに進めてください。 学校を離れた場所では、確かに児童の挨拶が少ないように感じます。校門での挨拶運動だけでなく、挨拶しやすくなるよう保護者や地域の工夫も必要かもしれません。
		道徳教育推進教師を講師とした研修や、国、都及び区の資料を活用した授業等を行う等道徳指導充実のための取組を行う。	3. 保護者や地域の方による学校評価アンケートの「挨拶をしている」に対して「よくあてはまる」のA評価が、20%以上であった。			
		学校生活調査(メンタルヘルステック)の結果よりストレス症状のみられる児童・生徒に対して組織的に対応する。	2. 保護者や地域の方による学校評価アンケートの「挨拶をしている」に対して「よくあてはまる」のA評価が、10%以上であった。			
		学校いじめ防止基本方針に沿って、いじめの未然防止、早期発見等のための取組を実施する。	1. 保護者や地域の方による学校評価アンケートの「挨拶をしている」に対して「よくあてはまる」のA評価が、10%未満であった。			
		問題行動・不登校問題等にかかわる児童・生徒に関するケース会議等を実施する。				
	あいさつ運動推進の取組を全学級実施した上で児童ボランティアを推進する。					
体力向上	子ども一人ひとりの身体活動量を増加させて意欲や気力の元となる総合的な体力を育みます。	新体力テストの結果を踏まえ体力向上全体計画を作成し、計画に基づいた体育指導や「一校一取組」運動や「一学級一実践」運動を実施する。	4. 保護者や地域の方による学校評価アンケート「基礎体力がついている」に対して「よくあてはまる」のA評価が、40%以上であった。	3	「よくあてはまる(A)」の評価では35.6%であった。肯定評価(A+B)の数値は、87.7%である。「よくあてはまる(A)」評価を高めるためには、新体力テストで成果を出せる持久力などの項目に力を入れるように、学校での取り組みを考えていく。	<ul style="list-style-type: none"> ・体力向上モデル校として、素晴らしい取り組みをされていると思います。評価は4でも十分適切であると思います。 「早寝・早起き・朝ごはん」保護者の方に浸透できたのではないのでしょうか。給食はおいしいです。工夫されています。 マラソン大会、持久走、みんな頑張りました。町も元気になるのではないのでしょうか。子どもの顔がよかったです。 入四マラソン大会の実施などで体力向上の取り組みを図っているのは、よいことです。給食も子供たちが興味をもつような工夫がされていて、とても良いです。規則正しい生活は、第一義的には家庭の役割ではありますが、「時間」を自己管理できるような啓発を、学校でもさらに進めていただければと思います。
		「早寝・早起き・朝ごはん」月間の取組等を通して、児童・生徒や保護者に対し、望ましい生活習慣についての意識啓発を行う。	3. 保護者や地域の方による学校評価アンケート「基礎体力がついている」に対して「よくあてはまる」のA評価が、30%以上であった。			
		給食指導及び教科等における指導を通して、食生活の充実・改善をねらいとした「食育」を推進する。	2. 保護者や地域の方による学校評価アンケート「基礎体力がついている」に対して「よくあてはまる」のA評価が、20%以上であった。			
		体育的行事、部活動、休み時間など様々な機会を通して運動習慣の確立を推進する。	1. 保護者や地域の方による学校評価アンケート「基礎体力がついている」に対して「よくあてはまる」のA評価が、20%未満であった。			
		体力向上モデル校として、体力向上の取り組みを実施する。(体育朝会・休み時間の活性化・公開講座の取組等)				
教育環境向上	教員の指導力向上、施設の整備や講師・支援員の配置などの学校サポート体制の充実に取り組み、学習環境の向上を図ります。	授業公開日の授業評価を、その後の授業改善に生かす。	4. 保護者や地域の方による学校評価アンケートの「子どもたちにとって分かりやすい授業をしている」に対して「よくあてはまる」のA評価が、40%以上であった。	4	「よくあてはまる(A)」の評価は54.8%であった。教職員の指導力向上のために、OJTを推進し、授業改善セミナー等の研修の成果とも思われる。また、普通教室に電子黒板が入ったり、タブレット端末が導入されたりと、ICT環境が整備されたので、高く評価された。今後も積極的に研修や研究を重ねていく。	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者、地域も積極的に協力し全体で学校を盛り上げていると思います。 先日の授業参観、5年生、アルソックの方が指導。スマホのこと、子どもたちも興味を持ってしまいました。先生以外の方が教えてくださり、ほんとの子がスマホを持っているのでびっくりしました。 ・体育・健康教育授業地区公開講座をはじめ、オリ・パラに関する教育活動に引き続き力を入れている様子が伝わってきます。「ワールドカフェ」やアクティブラーニング的な手法については、私の専門でもありますので、必要があればご相談ください。ICT機器を使って視覚的にイメージを伝えることで、子供たちに勉強への興味をもてるように、さらに進めてください。
		授業改善セミナー等の研修成果を生かし、主任教諭が助言・支援を行う校内研修等を実施しOJTを充実させる。	3. 保護者や地域の方による学校評価アンケートの「子どもたちにとって分かりやすい授業をしている」に対して「よくあてはまる」のA評価が、30%以上であった。			
		各種研究発表会等の研究・研修の成果を、自身の授業改善に生かす。	2. 保護者や地域の方による学校評価アンケートの「子どもたちにとって分かりやすい授業をしている」に対して「よくあてはまる」のA評価が、20%以上であった。			
		学力の定着と学ぶ意欲の伸長を目指し、ICT機器を活用した授業を実施する。	1. 保護者や地域の方による学校評価アンケートの「子どもたちにとって分かりやすい授業をしている」に対して「よくあてはまる」のA評価が、20%未満であった。			
		校内委員会等を確実に実施し、学校における特別支援教育を推進する。				
	読み聞かせボランティア、図書ボランティア、外国語活動やオリ・パラ等の教育活動で、保護者や地域・関連機関の活用を充実させる。					
家庭・地域の教育力向上	学校・家庭・地域の果たすべき役割や責任を明らかにするとともに相互の連携を深め、地域とともに子どもを育てる仕組みをつくりたい。	教育目標・学校経営方針・学校評価等の基本情報、児童・生徒の活動情報等をホームページ等で公開及び更新することにより、積極的に情報を発信する。	4. 保護者や地域の方による学校評価アンケートの「学校は、子どもたちの成長を家庭と連携して取り組んでいる」に対して「よくあてはまる」のA評価が、30%以上であった。	4	「よくあてはまる(A)」の評価では49.3%であった。地域力が高く、学校教育活動に大変協力的である。地域だけでなく家庭の教育力を上げていけるように、取り組みを考えていく。	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールサポートや地域との連携は素晴らしい、よく活用されていると思います。 いろいろな家庭がある中で、子どもに目を向けていない家庭があるのは残念ですが、学校の支援のすばらしさに頭が下がります。 ・ホームページや学校だよりなどで、学校の様子を伝える努力をされていると思います。入四マラソン大会にも多くの保護者がボランティアとして参加するなど、家庭と学校の信頼関係があると感じます。
		地域教育連絡協議会において、児童・生徒の姿等の具体的な資料を作成して、評価に必要な学校の情報を適切に提供し、適正な評価を受けるよう努める。	3. 保護者や地域の方による学校評価アンケートの「学校は、子どもたちの成長を家庭と連携して取り組んでいる」に対して「よくあてはまる」のA評価が、20%以上であった。			
		学校支援地域本部と連携するなどして、地域力を生かした特色ある教育活動を実施する。	2. 保護者や地域の方による学校評価アンケートの「学校は、子どもたちの成長を家庭と連携して取り組んでいる」に対して「よくあてはまる」のA評価が、10%以上であった。			
		家庭学習や読書の習慣化、生活規範意識の向上、読書等について、家庭との連携を密にする。	1. 保護者や地域の方による学校評価アンケートの「学校は、子どもたちの成長を家庭と連携して取り組んでいる」に対して「よくあてはまる」のA評価が、10%未満であった。			